

ライフステージごとの事業実績(R元～R2)										調査票A	【資料2】
事業	取組み				事業実績				担当課	健やか未来都市ちばプラン 目標値及び課題	
	むし歯	歯周病	口腔機能	その他	令和元年度		令和2年度				
妊産婦	母親&父親学級	○	○			38回 866人	25回 458人	健康支援課 健康推進課 区健康課	健やか未来都市ちばプラン 目標値及び課題		
	妊婦歯科健診	○	○			受診率 35.8% 2,555人/6,623人	受診率 31.8% 2,029人/6,373人				
	産婦歯科健診	○	○			受診率 30.4% 1,760人/6,419人	受診率 25.9% 1,574人/6,069人				
	妊婦重度う蝕個別相談(4か月児健診時)	○	○			201人	125人				
乳幼児	乳幼児歯科相談	○				225回 1,935人	132回 583人	区健康課		【1.6歳児健診】 う蝕有病者率は減少しているが、う蝕有病者の一人平均う歯数が増加している。う蝕のある子どもとない子どもとの差が広がっていることが分かる。	
	4か月児健康診査	○				受診率 96.5% 6,405人/6,635人	受診率 80.4% 5,102人/6,345人				
	1歳6か月児歯科健康診査	○				受診率 95.7% 6,778人/7,084人	受診率 95.5% 6,412人/6,711人				
	う蝕有病者率	/				1.2%	1.7%				
	う蝕有病者の1人平均う歯数					2.89本	2.66本				
	健診受診者の1人平均う歯数					0.04本	0.04本				
	仕上げ歯磨きされていない割合					4.7%	3.6%				
	2歳児むし歯予防教室	定例	○	○			参加率 34.7% 204回 961人/2,773人		参加率 23.8% 151回 528人/2,214人		
		イベント	○	○			参加率 43.4% 29回 149人/343人		参加率 39.7% 25回 89人/224人		
	3歳児歯科健康診査	○				受診率 94.4% 7,176人/7,602人	受診率 94.4% 6,626人/7,023人				
	う蝕有病者率	/				12.1%	11.6%				
	う蝕有病者の1人平均う歯数					3.26本	3.30本				
	健診受診者の1人平均う歯数					0.39本	0.38本				
	フッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合					46.0%	47.8%				
	乳幼児口腔保健指導事業									健康推進課 区健康課	3歳児でう蝕のない子どもの割合の増加
	中央講習会	○				1回 119人	1回 771人				
地域歯科保健連絡会	○				中央講習会に併設	中央講習会に併設					
刷掃指導	○				1回 63人	0回 0人					
幼稚園・認定こども園					5園	5園	健康推進課 幼保支援課	目標値(R4)	90%以上 (H29変更)	評価	
フッ化物洗口	○				660人	529人		ベースライン H23	77.1%	/	
保護者等説明					3回 163人	0回 0人		中間値 H28	83.6%	◎	
公立認定こども園・私立保育園					4園	4園	健康推進課 幼保支援課	H29	85.0%	○	
フッ化物洗口	○				実125人	実113人		H30	87.2%	○	
保護者等説明	○				2回 10人	0回 0人	幼保運営課	R1	87.9%	○	
公立保育所歯科健診 (59か所: 認定こども園2園含む)  (有:有病者率) (受:受診率)	2歳	○			有5.5% 受98.2% 1,249人/1,272人	有4.9% 受98.3% 1,158人/1,178人		※中間評価(H28)で目標値の80% 以上を達成したため、90%以上に 変更	R2	88.4%	○
	3歳	○			有13.8% 受98.5% 1,263人/1,282人	有12.7% 受98.5% 1,117人/1,134人					
	4歳	○			有21.5% 受98.9% 1,225人/1,239人	有20.5% 受98.1% 1,253人/1,277人					
	5歳	○			有31.2% 受98.3% 1,334人/1,357人	有27.5% 受98.3% 1,256人/1,278人					

ライフステージごとの事業実績(R元～R2)					調査票A		【資料2】								
事業	取組み				事業実績				担当課	健やか未来都市ちばプラン 目標値及び課題					
	むし歯	歯周病	口腔機能	その他	令和元年度		令和2年度								
児童・生徒	定期健康診断 (特別支援学校を含む)	小学校	○			111校	46,483人	109校	45,614人	保健体育課	12歳児でう蝕がない子どもの割合の増加	目標値(R4)	増加	評価	
		中学校	○			55校	22,160人	55校	21,705人			ベースライン H28	68.4%		
	12歳児の永久歯むし歯の1人平均本数						0.54本		0.58本			H29	69.4%	○	
	歯ぐきに異常がある12歳児の割合						27.3%		23.3%			H30	70.5%	○	
	口腔衛生指導 (特別支援学校を含む)	小学校	○	○			8,280人		4,088人						
		中学校	○	○			6,582人		2,841人						
	学校歯科保健推進事業											R1	71.9%	○	
	健歯児童・生徒表彰	小6	○				1,488人		1,635人						
		中3	○				1,216人		1,104人						
	学校歯科保健活動 推進校表彰	小学校	○				1校		中止						
		中学校	○				1校		中止						
	歯・口の健康に関する 図画・ポスター、健康 啓発標語の募集	図画・ポスター	○	○			31点		中止						
		標語	○	○			161点		中止						
	学校歯科保健優良校表彰	小学校	○				4校		中止						
		中学校	○				1校		中止						
歯と口の健康づくり啓発事業	小学校	○	○			4校	1,680人	4校	1,601人	R2	73.6%	○			
	中学校	○	○			3校	844人	2校	757人	中学2年生における 歯肉に炎症所見を有する 子どもの割合の減少					
むし歯予防フッ化物洗口 事業(モデル事業)	小学校	○				7校	1,660人	2校	289人	目標値(R4)	25.0%	評価			
	中学校					—		—		ベースライン H28	29.3%				
歯医者さんの喫煙防止教室 (学校保健会事業)					○	5校	649人	1校	121人	H29	27.3%	○			
成人	成人歯科相談		○	○		296回	2,102人	202回	748人	H30	26.7%	○			
	健康教育・講演会		○	○		110回	1,703人	17回	199人	R1	24.5%	○			
	歯周病検診		○	○		受診率 6.00%		受診率 5.38%		R2	19.6%	○			
						5,764人/95,614人		5,099人/94,776人		【歯周病検診】 H30年度より40～70歳までの10歳刻み であった対象者を5歳刻みに拡大した が、受診率が低下。再勧奨の廃止が原因 と推測。 40歳代における進行した歯周炎を有 する人の割合の減少					
口腔がん検診						1,424人		857人		目標値(R4)	25.0%	評価			
高齢者	歯っぴー健口教室			○		95回	1,016人	24回	163人	ベースライン H23	39.4%				
	講演会			○		6回	147人	4回	72人	中間値 H28	47.7%	×			
	健康教育			○		151回	2,639人	24回	298人	H29	44.6%	△			
	いきいき体操			○		50回	570人	7回	60人	H30	42.6%	△			
	歯科相談			○		159回	536人	64回	138人	R1	45.2%	×			
	口腔ケア事業			○		131人		57人		R2	48.0%	×			
	歯科口腔健康診査(76歳)			○		1,998人		1,569人		60歳代における進行した歯周炎を有 する人の割合の減少					
心身障害者 (児)等	訪問歯科診療事業(わたきり40歳以上)				○	実77人		実74人		目標値(R4)	45.0%	評価			
	わたきり老人・心身障害者 (児)歯科診療事業	わたきり老人			○	実41人	延162人	実27人	延120人	ベースライン H23	49.2%				
		心身障害者(児)			○	実113人	延376人	実99人	延304人	中間値 H28	57.4%	×			
全年齢	ヘルシーカムカム				○	2,067人		中止		H29	56.9%	△			
	歯みがき&でんたるカップ ミニサッカー大会	参加者					約3,000人		中止		H30	58.8%	×		
		フッ化物洗口体験				○	100人		中止		R1	54.4%	△		
	区民まつり等				○	1,496人		中止		R2	55.4%	×			
市民健康づくり大会				○	4,924人		中止		※40歳代の歯周炎は緩やかな減少 傾向が見られるが、依然としてベ ースラインを下回っている。60歳代 の歯周炎は中間値時点で悪化し、ほ ぼ横ばい状態である。						